

# ISO維持管理 サービスが好調

ISO関連のコンサルティング事業などを展開するエコヒルズ(東京都港区、03・3568・7301、田宮嘉一社長)の「ISO維持管理サービス」が好調だ。

## エコヒルズ

ISO14001などの認証取得企業を対象に、文書管理やシステムの運用管理などをトータルで受託。インターネットを通じて文書作成や運用相談に応じる。認証取得企業に絞ったサービスは珍しく、アンケートやマーケティングを通じて得た現場の「生の声」を反映したサービスが顧客から好評を得ているという。今後は人員増などを通じて体制を強化。来年度には受注契約を、これまでの累計の約二倍となる100社、売り上げ一億円まで引き上げたい考え。

人件費を大幅削減  
40〜50社と契約

サービスは、ISO認証取得企業を対象に、インターネットを通じて文書の作成や改

定、電子承認などの一部ないしはすべてを代行する。ともに、コンサルタントが規格の適合性や有効性といったシステムの維持管理や継続的改善に関する相談に応じるもの。

で、企業にとってはシステム維持管理のための人件費の大幅削減につながる。月額10万円から引き受けるなど、低コストな点も好評を得ている。これまでに大手企業を中心に、合計40〜50社と契約。今年三ヶ月では、四五〇万円の売り上げを見込んでい

る。その結果、「紙、ごみ削減、海外への展開視野にソフト開発にも注力

環境関連法規制の更新に合わせ適用法の調査を行う環境法管理代行サービスも展開している。

顧客から何が求められているのかを徹底して調査し

そういった現場の声は、同社が開発・作成するソフトウ

# 現場の「生の声」反映が奏功

ISO文書のペーパーレス化や管理代行などを通じて文書管理体制を効率化すること

省エネが行き詰っている、エアにも活用する。

日本国内のISO14001認証取得件数は昨年十一月現在、一万九四七七件に上

る。例えばこれまで、グリーンカーボンが少なくないとされる廃棄物処理法に対して適法か否かを判断し、排出者としての

順法性を確保するための「これだけ!環境法 廃棄物処理編」(三〇万円)を始め、システム管理者や内部監査員、取引先などに対する教育訓練



田宮社長

田宮氏は「認証取得後、その「生の声」を集めること

ができたという。田宮氏は、「担当者の苦勞や悩みは、これまで漠然とは知られてはいても、明確に頭

## 来年度100社受注目指す 認証取得企業に照準

用eラーニングソフト「力量アップ内部監査員研修」(二〇万円)を提供している。これらソフトの開発・販売も同社の事業の柱の一つとして位置付けており、ISOの維持管理のためのツールとして活用してもらいたい考えだ。現在では、一〜二年後の販売開始を目標に、環境管理システムへの対応すべてをマニュアルなしで実現できるソフトの開発に取り組む。合わせて従来製品の翻訳版ソフトの作成を進めるなど、海外展開も視野に入れているという。田宮氏は、「日本は環境で世界のリーダーシップを取れるだけの潜在力を持っている。当社は、その環境力を底上げできるような『縁の下』の力持ちでありたい」としている。